

大阪市における mydoor OSAKAの検討状況

大阪市 デジタル統括室

大阪市におけるmydoor OSAKAの検討状況

○ 大阪市におけるID・市民ポータル及び情報発信の取組について

- 本市ではこれまで手続きのオンライン化、SNSを活用した情報発信、水道マイページの構築、教育分野のアプリ導入など、本市の特性に応じた各種サービスの拡大・充実に向けた取組みを進めてきた。
- 堺市においてID取得に向けた取組として、mydoor OSAKAを活用したサービスを展開していく予定の出産子育て応援給付金事業については、民間業務委託とすることで、オンラインによる申請受付だけでなく外国語対応など大阪市の特性に応じたきめ細かなサービス提供を実施している。
- 情報発信の観点においては、高齢者にも親しみがあり、よりきめ細やかなコンテンツを配信できるLINEを中心に活用することとしており、令和5年9月より開始したばかりのセグメント配信の内容充実や利用者増加について、当面は注力していく。
- 一方で、これらのサービスを提供するにあたり、それぞれのサービスごとにIDが必要となっていることについては認識しており、現利用者や既存事業への影響や国のマイナポータルの動き等、一元化のタイミングや効果を吟味したうえで、検討していく。

○ 現時点におけるmydoor OSAKAに対する見解

- 府の行政サービスと市町村の行政サービスが一つのポータル上で受けることができることや主体の違う市町村の施設の予約を一つの窓口からできるという広域ポータルとしてのコンセプト自体には意義がある。
- 民間委託等により、本市の特性に応じた様々なサービスを展開しており、現在の市民サービスレベルの維持を念頭におくと、現時点ではmydoor OSAKAを活用する段階に至っていないが、今後、本市での市民サービス向上に資する広域ポータルへと進化していくことを期待している。

○ 今後の方向性

- 今後、本市としてのIDや市民ポータルのあり方の検討を進めつつ、mydoor OSAKAが大阪府が掲げるコンセプトどおりの広域ポータルへと進化することを期待し、堺市をはじめ府内市町村での運用方法や利用実績も参考にしながら、市民サービス面、運用面、費用面を検証したうえで、mydoor OSAKAへの参画や活用方法について検討していく。